

【調査概要】

○本調査においては、「**国民の娯楽と健康に関するアンケート（調査A）**」「**依存の問題で相談機関を利用された方へのアンケート（調査B）**」を実施

○「**国民の娯楽と健康に関するアンケート（調査A）**」

- ・一般住民における「ギャンブル経験」や「ギャンブル行動」の実態、および「ギャンブル等依存が疑われる者の割合の推計」を明らかにすることを目的とする

- ・調査票を送付することにより行う全国住民調査

※令和5年度は「ギャンブル等依存が疑われる者」の推計に、PGSI（Problem Gambling Severity Index）を用いた。

○「**依存の問題で相談機関を利用された方へのアンケート（調査B）**」

- ・公的な相談機関の利用者を対象に、ギャンブル等依存の問題を抱えている当事者と家族の特徴やギャンブル関連問題の実態を把握することを目的とする

- ・全国の精神保健福祉センターならびに依存症に関する窓口を有する保健所を対象に調査依頼を実施

- ・当事者票と家族票の2種類の自記式アンケート調査（無記名）

※ **PGSI**とは

- ・カナダで開発されたギャンブル問題の自記式スクリーニングテスト。一般住民を対象とした疫学調査で使用するために開発されたテストで、海外の多くのギャンブル問題に関する調査で使用。

- ・過去12カ月間のギャンブルの頻度などを質問

- ・9項目の質問について、「全くない」（0点）、「ときどき」（1点）、「たいていの場合」（2点）、「ほとんどいつも」（3点）の4段階に分け、それぞれの点数を合計・判定

（0点➤問題なし、1～2点➤低リスク、3～7点➤中リスク、8～27点➤問題ギャンブリング）

【質問内容】「どのくらいの頻度で、失っても本当に大丈夫な金額以上のお金をかけましたか」「どのくらいの頻度で、同じだけの興奮を得るために、それまでより多くの金額をギャンブル等に費やさなければならませんでしたか」など

○過去1年におけるギャンブル等依存が疑われる者（PGSI 8 点以上）の割合とそのギャンブル行動

○ PGSI 8 点以上：**全体1.7%、男性2.8%、女性0.5%**

○ 各年齢の有効回答数におけるPGSI8点以上の者の割合で最も高かったのは、40代が最も多く（2.4%）、次いで30代が多かった（2.1%）。

○ 過去1年間にギャンブルに使った金額（1か月あたり）：中央値 6 万円

○ 過去1年間に最もお金を使ったギャンブルの種類は、男性ではパチンコ（43.4%）、パチスロ（24.5%）、競馬（11.3%）の順で、女性ではパチンコ（60.9%）、パチスロ（17.4%）、その他（13.0%）の順で割合が高い。

	令和5年度			令和2年度		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
ギャンブル等依存症が疑われる人の割合（過去1年以内）	2.8%	0.5%	1.7%	2.8%	0.4%	1.6%

前回調査から概ね横ばい

○インターネットを使ったギャンブルの現状

○ インターネットを使ったギャンブルの購入方法については、すべての公営競技などにおいて、「主にオンライン」または「両方」で行うと回答した者の割合が過半数を占めた。

○コロナ拡大前とのインターネット利用したギャンブル行動の変化

○ 新型コロナウイルス感染拡大前と比較し、インターネットを使ったギャンブルの利用が増えた（「新たに始めた」、「する機会が増えた」の合計） との回答は、PGSI 8 点未満の者では3.6%であったのに対し、PGSI 8 点以上の者では19.9%であった。

○ギャンブル問題に気が付いてから初めて病院や相談機関を利用するまでの期間は、当事者は平均2.9年、その家族が3.5年であった。また、相談機関につながったきっかけについて、当事者では「家族にすすめられた」、家族では「自分からHPなどで探した」が過半数を超えていた。

【当事者回答から】

項目	ギャンブル問題を抱える相談者
ギャンブル開始年齢	20.2歳
月1回以上の習慣ギャンブル開始年齢	22.7歳
1カ月あたりのギャンブル使用金額	中央値：15万円 平均値：73万円
ギャンブルに関連した借金経験	借金の経験あり：141名(89.8%) 借金の経験なし：16名(10.2%)
ギャンブルに関連した借金	中央値：400万円 平均値：654万円
ギャンブル資金の用意	第1位：「自分の貯金」55.7% 第2位：「消費者金融やサラ金等」43.2% 第3位：「後払い決済（クレカ等）」35.9%
依存の問題に気づいてから病院や相談機関を利用するまでの期間	平均2.9年（34.5か月）
相談機関につながったきっかけ	第1位：「家族にすすめられた」51.2% 第2位：「自分からHPなどで探した」32.5% 第3位：「医療機関ですすめられた」13.8%

【家族回答から】

項目	ギャンブル問題を抱える相談者
ギャンブルに関連した借金経験	借金の経験あり：163名(74.1%) 借金の経験なし：12名(5.5%) わからない：45名(20.5%)
ギャンブルに関連した借金	中央値：500万円 平均値：680万円
借金の立て替え経験	借金立替の経験あり：157名(72.4%) 借金立替の経験なし：34名(15.7%) わからない：26名(12.0%)
借金の立て替え額	中央値：389万円 平均値：557万円
依存の問題に気づいてから病院や相談機関を利用するまでの期間	平均3.5年（41.5か月）
相談機関につながったきっかけ	第1位：「自分からHPなどで探した」51.2% 第2位：「家族にすすめられた」11.2% 「医療機関ですすめられた」11.2%